

【ご参考】 2020年3月期 第2四半期決算短信 補足資料

1. 当期連結業績の概要

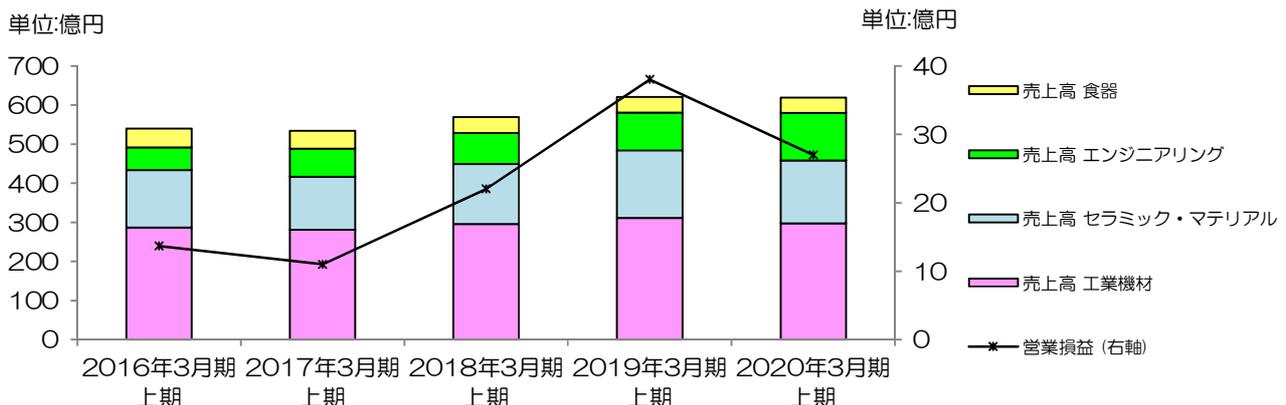
【業績】
売上高 619億円（前年同期比 0.5億円減収） 為替により、売上高 0.3億円減少（US\$ 1.5円円安、EUR 6.6円円高、THB 0.1円円安等） 営業利益 27億円（前年同期比 11億円減益） 経常利益 37億円（前年同期比 12億円減益） 親会社株主に帰属する四半期純利益 28億円（前年同期比 13億円減益）
【連結の範囲】
連結会社 23社（増減なし） 持分法適用会社 4社（増減なし）
【特別損益】
特別利益 0.7億円：PCB処理費用戻入益 0.7億円等 特別損失 0.5億円：固定資産処分損 0.4億円等
【中間配当金】
中間配当 50円／株（前期中間40円／株） 期末配当50円／株 予定（前期末50円／株）

(1) 業績推移

（単位：億円 四捨五入）

		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	対前年同期比
		3月期	3月期	3月期	3月期	3月期	
		上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	上期実績	
売上高	工業機材	287	281	295	311	297	△ 14
	セラミック・マテリアル	147	136	154	173	161	△ 12
	エンジン・アプリケーション	58	72	79	97	122	25
	食器	49	46	41	39	39	△ 0
		540	534	569	620	619	△ 1
営業利益	工業機材	7.2	2.8	8.1	10.4	3.2	△ 7.2
	セラミック・マテリアル	7.6	7.8	13.6	20.8	12.7	△ 8.1
	エンジン・アプリケーション	1.4	4.1	6.0	11.9	14.8	2.9
	食器	△ 2.5	△ 3.6	△ 5.5	△ 5.1	△ 3.8	1.3
		13.7	11.0	22.2	38.0	26.9	△ 11.1
(売上高営業利益率)		(2.5%)	(2.1%)	(3.9%)	(6.1%)	(4.3%)	-
経常利益		19.8	18.5	31.6	49.6	37.2	△ 12.4
親会社株主に帰属する 四半期純利益		23.9	9.7	24.8	40.8	28.1	△ 12.7
1株当たり四半期純利益		166.76円	67.26円	172.64円	283.92円	195.56円	-
1株当たり純資産		5,538.75円	5,231.82円	6,068.26円	7,147.09円	7,245.02円	-
US\$ 為替レート		120.5円	111.8円	112.1円	108.5円	110.0円	-

売上高及び営業損益の推移（2016年3月期上期-2020年3月期上期）



(2) 設備投資及び減価償却費

(単位：億円 四捨五入)

	2019年3月期 上期		2020年3月期 上期	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
工業機材	7	10	14	10
セラミック・マテリアル	13	4	19	5
エンジニアリング	0	1	1	1
食器	1	2	1	2
管理部門	4	3	2	3
合計	25	20	37	22

(3) 有利子負債

(単位：億円 四捨五入)

	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2019年9月	対前期比
有利子負債	282	231	131	48	45	△ 3
現金及び預金	107	113	185	141	138	△ 3
ネット有利子負債	175	119	△ 54	△ 93	△ 93	△ 0

2. 2020年3月期の予想**(1) 重点施策****【工業機材事業】**

- 中国、タイ、北米などの海外生産拠点の増強と、販売拠点の新設や他社との協業による海外市場の開拓を進め、グローバルな事業体制を構築します。
- 商品競争力の強化により、自動車・鉄鋼・ベアリングといった重点分野でのシェア拡大を図るとともに、自動車の自動運転・電動化、IoTなどに対応した新商品開発により、新分野、拡大分野での市場獲得を進めます。
- グループ会社を含めた国内販売拠点の再整備を行い、効率的な販売・物流体制を構築します。

【セラミック・マテリアル事業】

- 電子ペースト事業では、高速通信などの最先端の電子部品に対応した商品開発を推進し、国内外の重要顧客でのシェア拡大を図るとともに、海外での新規顧客の開拓を進めます。
- セラミックス事業では、石膏とセラミックコアの生産能力の増強と海外市場の開拓、触媒担体の性能改良と次世代商品の開発、中小型表示機・タッチスイッチの食品製造装置などの新市場開拓を推進します。
- 電子部材は、積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強によるシェア拡大や新商品開発に取り組みます。

【エンジニアリング事業】

- 次世代電池などのエネルギー分野、自動車分野、エレクトロニクス分野での新商品・新技術開発と新用途開拓による拡販を進めます。また、新素材や化粧品など新しい分野への参入と新用途展開に取り組みます。

【食器事業】

- 国内では、流通販路や直営店の再整備、ネット販売の強化、ホテル・レストラン向けの業務用食器の販売強化を図ります。海外では、新商品の投入などによる米国市場の収支改善と、成長が期待されるアジア市場の販売拡大を推進します。

【設備投資金額】

設備投資 80億円 減価償却費 45億円

(2) 業績予想

(単位：億円 四捨五入)

	2019年 3月期	2020年3月期 業績予想				
		通期実績	上期実績	下期予想	通期予想	通期増減
売上高	工業機材	632	297	308	605	△ 27
	セラミック・マテリアル	348	161	159	320	△ 28
	エンジニアリング	193	122	88	210	17
	食器	85	39	36	75	△ 10
		1,258	619	591	1,210	△ 48
営業利益	工業機材	23.3	3	6	9	△ 14
	セラミック・マテリアル	36.9	13	9	22	△ 15
	エンジニアリング	22.3	15	8	23	1
	食器	△ 7.7	△ 4	△ 5	△ 9	△ 1
		74.8	27	18	45	△ 30
経常利益	97.6	37	29	66	△ 32	
親会社株主に帰属する当期純利益	97.1	28	17	45	△ 52	

(下期想定為替レート US\$=105円)